



図4 兵士の死因の図解

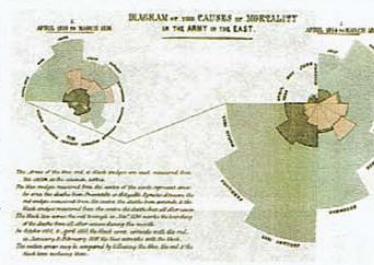


図5 A・ケトル (1796-1874)



Wikimedia Commons

リスや日本では男性の皇族も軍人として軍務を遂行する習慣がありまし、女性の皇族は赤十字社など貢献しています。富裕層に誕生したナインティーワールが無給で看護の仕事をしようとしたのは当然のことでした。

一八五四年にイギリスがクリミア戦争に参戦し、戦場に派遣された兵士の死因を分析しました。

その結果、兵士は戦場での負傷で死亡するよりも、野戦病院での治療や劣悪な病院の衛生状態のために死亡するほうが多数であることを明確にし、その報告を分析しました。

このように、彼女が告白類を成し、そのような統計によって、彼女は「死に残るな」として認められた女性会員一号に推挙され、翌年には、彼女が信奉する社会科学院の統計理論を導入した近代統計理論の始祖とされるベルギーのA・ケトレー(図5)が開催した国際統計会議のロンドン大会で病院に関する統計の統一様式を提案していましたが、ヴィクトリア女王が

想はなかった

こと

でした。

しかし、予想

したこと

でした。

た。

た。